

令和4年度 動物愛護週間中央行事実施結果

1 動物愛護週間中央行事への参加

動物愛護週間は、広く国民の間に、命ある動物の愛護と適正な使用について理解と関心を深めるために設けられているもので、国及び地方公共団体はその趣旨にふさわしい行事が実施されるように努めなければならないことが「動物の愛護及び管理に関する法律」第4条に定められている。

本会は、本年も、東京都内で開催された「動物愛護週間中央行事」に、国及び東京都、台東区並びに動物愛護団体等で構成する動物愛護週間中央行事実行委員会に主催者構成団体として参画した。

2 令和4年度動物愛護週間中央行事の実施結果

令和4年度動物愛護週間中央行事は、令和2年度、令和3年度と同様に新型コロナウイルス感染症まん延防止のため大幅な変更を余儀なくされた。10月1日(土)に、上野恩賜公園噴水前広場で予定されていた屋外行事でのブース出展は中止となり、上野恩賜公園内 水上音楽堂におけるステージイベントのみの開催となった。また、9月24日(土)に行われた屋内行事は、台東区生涯学習センター ミレニアムホール内での様子をLIVE配信する形で開催された。

【テーマ】「人も動物も幸せに
～考えよう、共に暮らす社会～」

(1) 9月24日(土) 13:00～17:00 屋内行事

屋内行事は、台東区生涯学習センター ミレニアムホールにて、以下の2部構成で実施され、YouTubeを用いてオンライン配信が行われ、リアルタイムでの視聴数は約200名であった。

第1部では、環境省をはじめとした実行委員会構成団体による各コンクールの受賞作品等の紹介がされた。本会は「第34回日本動物児童文学賞」の大賞・優秀賞・奨励賞に入賞した計8名の作品名と作者名の紹介を行った。

第2部では、2名の有識者による講演会が行われたのち、「子どもも大人も一緒に考えよう、私たちと動物」をテーマとするパネルディスカッションが行われた。

ア 第34回日本動物児童文学賞 受賞作品

〈日本動物児童文学大賞〉

「モモとタロウ」 寺田喜平(岡山県)

〈日本動物児童文学優秀賞〉

「堤防の道の散歩」 竹内佐永子(愛知県)

「岬の野生馬」 小俣麦穂(長野県)

〈日本動物児童文学奨励賞〉

「タレンとヨーサン二匹の猫のものがたり」

尾崎順子(兵庫県)

「香菜子の決心」 井上理博(神奈川県)

「手のひらの命」 伊東葎花(茨城県)

「おかえりナイア」 堀部明美(奈良県)

「金魚のあかちゃん」 まきうちれいみ(東京都)

イ 講演会・パネルディスカッション

(ア) 講演会

〈講演①〉

「動物たちが教えてくれる大切なこと」

講師：藤井敬子氏

(奈良県うだ・アニマルパーク振興室 副主幹/
奈良県中和保健所動物愛護センター 副主幹)

〈講演②〉

「モルモットを教室の中で育ててみた」

講師：森田和良氏

(文京学院大学人間学部児童発達学科 特任教授)

(イ) パネルディスカッション

「子どもも大人も一緒に考えよう、私たちと動物」



開会のあいさつをする
日本動物愛護協会 理事長 田畑直樹氏



講演する藤井敬子氏



講演する森田和良氏

パネリスト：

藤井敬子氏

(奈良県うだ・アニマルパーク振興室 副主幹／
奈良県中和保健所動物愛護センター 副主幹)

森田和良氏

(文京学院大学人間学部児童発達学科 特任教授)

(2) 10月1日(土) 10:00～16:00 屋外行事

屋外行事は、本会が実施する2022動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day” と合同開催で上野恩賜公園 水上音楽堂にて約100名の来場者を得て開催された。荒井隆嘉氏による犬のしつけ方教室、環境省パートナーシッププロジェクト「つなぐ絆, つなぐ命」&アマゾンジャパン(株)「Welcome Family Campaign ～両想いで家族になろう～」, 日本聴導犬推進協会による聴導犬のデモンストレーションが行われた。



犬のしつけ方教室



聴導犬のデモンストレーション



環境省パートナーシッププロジェクト「つなぐ絆, つなぐ命」&アマゾンジャパン(株)「Welcome Family Campaign ～両想いで家族になろう～」